

No. 1075

平和への祈り

— 全国戦没者追悼式 —

強烈な夏の陽光が照りつけ、29年前の
「あの日」と同じよう……………

29回目を迎えた終戦記念日の8月15日、全国戦没者追悼式が東京・九段の日本武道館で行なわれました。正午、大戦の犠牲になった310万戦没者の霊を悼み、参列者全員が一分間の黙とう。二度と戦争の悲劇はくり返さないという誓いも新たに平和への祈りが続けられました。

自閉症の子ら

— 中日サマースクール —

自閉症——それは、ゆとりのない社会が生みだした現代の病いだ。外界との交流を拒むかのように閉ざしたこの子、その心は病んでいる。

そんな子供たちの心が、すこしでも開かれればと、このほど木曾御岳山の山ふところにいだかれた長野県木曾福島町に自閉症児とその母親など約百人を集めて、中日新聞社会事業団主催のサマースクールが開催された。全国でも珍しい自閉症児の集団生活、環境を変え、集団で生活することによって、この子たちにどのような変化があらわれるだろうか。先生を囲んで、母親たちの真険な研修会が行われた。

自分の力では何することもできない子供たち、その心はどこをさまよっているのだろうか。母の手をかりて、やっと遊びはじめる。しかし、そこに喜びの表情は見えない。無理に何かをさせようとしても、子供の心はかたくなに閉ざされたままだ。

そんな子らが、大自然のふとところで、いつか、ひとり遊びはじめた。さまざまな経験が子供の心を開いて行きはしないか、先生も母親も期待の目ざして見つめる。

最後の夜、キャンプファイヤーが開かれた。笑顔を見せたことのない子供たちがゲームに興じる。キャンプは終わった。この三日間の経験は、自閉症の子らを、どのように変えて行くだろうか。